

**全国大会に参加されたの  
ご感想をいただきました**

『舟板音ばなしの家』

中山ミヤ子 さん (大分県)

思えば、第一回目のGT水俣大会にパネラーとして楽しく全国の皆さんと語り合い、愛林館での二次会もとても楽しかったこと、昨日の事のように思い出します。その後東京大会・島根大会・今回の阿蘇での四回のパネラーをさせていただき本当に幸せです。

今回の「農村女性とツーリズムビジネス」の第一分科会では、人吉の“ひまわり亭”の本田節さんの流暢な司会で、五人のパネラーのお母さんたちと楽しいトークをさせていただきました。高森町・田楽の里”で行われた夜の交流会では、全国津々浦々から参加したなつかしい人との出会いを楽しみました。

翌日は、紅葉で美しい高森町で、北海道から沖縄までの約七百人の参加者で全体会が行われました。九州でツーリズムが盛んになった

事には二つが関係していると思います。それは小国の『九州ツーリズム大学』そして九州の人たちを繋ぐ『九州のムラ』という雑誌があるからだと思います。長年におたり人と人を出合わせ触れ合う機会を作って下さったと思います。

今回も豊かな自然・歴史・文化に触れられ素晴らしい人々との出会いが地域を愛しふるさとに誇りを持つ事を感じられた二日間になりました。来年度開催される福井県からもたくさんの方がみえ、関心の高さがうかがえ、再開が楽しみです。

『ロハス越前』

田中 滋子 さん (福井県)

第一回目の水俣大会から十回まで、全大会に参加させていただいて、今回は改めて、「あの時、この熊本から大きな一歩を踏み出したんだなあ」と感慨も一入でした。全部の分科会にメンバーを参加させることはできなかったのですが、さすが先進地「九州」。どの分科会もグレードが高く、またひととき学びの場と、発見、感動をいただくことができました。そして、やはりグリー

ン・ツーリズムは地域を誇りに思い、「人に出会える喜び」を広げることだな再確認して帰ってきたのです。

第二回の鳴子大会にメンバー十六名で参加して時から、「次は福井で全国大会」と唱え続けてきて、今年ようやくその夢が叶うおとします。後発組の福井は福井らしい全国大会をとロハス越前のメンバーを始め、三年前目を迎える「ふくいエコ・グリーンツーリズムネットワーク」のメンバーや、県・市などの行政の皆さんとともに、新たな福井のグリーンツーリズムの一步となるような大会を目指したいと思っています。ぜひ皆さんのお力を福井に結集してください。お待ちしております。



交流会で農家民宿のおかあさんたちを紹介している様子

『東洋大学大学院』

祝 奈津美 さん (東京都)

二回目の全国グリーン・ツーリ

ズム全国大会。前回は学生ボランティアとして参加したが、今回は一般参加者として出席した。前回よりも参加者の方々と交流することができ、多くの刺激を受けることが出来た。

一日目は、名水の里で有名な手野地区で行われた三分科会に参加した。二十代から四十代の若手農業者や実業家を迎えてのディスカッションが行われた。特に、若手農家の大津さんの発表では、こずみを使用したカフェ経営から子育ての苦労までと若手農家ならではの悩みや遣り甲斐などを知ることができとても参考になった。二日目の全体会では、青木教授、徳野教授、韓国から来られた羅考雨さん、本田節さんを始めとする実践者の方々をお招きし、ディスカッションが繰り広げられた。特に、羅氏が提唱するフェアツーリズムの考え方は、地域住民が自分たちの持つ資源を守っていく上で、とても大切な考え方だと感じた。今回の全国大会は去年よりも自分にとって実りの多いものになったのではないかと思う。